

科目名	保育所実習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2	通年			
担当者名	重村 美帆 廿 麻乃	関連する資格	保育士資格 選択				
<b>授業概要</b> 保育所保育士の保育計画に基づいて保育活動に参加し、子どもとのふれあいを通して、保育者の役割について理解を深めていく。また、保育者として求められる基本的な態度や能力を培う。							
<b>到達目標</b> ① 保育所保育士の役割について理解する。 ② 子どもの発達について理解する。 ③ 保育計画に基づく保育活動のプログラムを実践的に学ぶ。 ④ 保育の多様なニーズに基づいた具体的な対応を実践的に学ぶ。			<b>成績評価方法</b> 実習評価表、実習日誌、その他実習に関する提出物による総合的評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○				○		5
宿題、授業外レポート	○	○		○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○	○	90
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
<b>実習初期</b> 1) 保育所の1日の流れを把握し、主体的に参加する。 2) 観察や関わりを通して子どもの遊びや生活の実態を理解する。 3) 望ましい環境整備、保育教材の準備など、保育士の役割を学ぶ。					実習		

<p>実習中期</p> <p>4) 子どもとのふれあいを通して援助の仕方を学ぶ。</p> <p>5) 6) 保育士の指導案に基づいた保育活動に補助的立場で参加し、子どもとのふれあいを通して共感関係を形成するとともに、援助方法を習得する。</p> <p>7) 配属されたクラスの保育を展開するにふさわしい保育環境を設定する。</p>	実習
<p>実習後期</p> <p>8) 9) 子どもたちの実態を踏まえて、部分実習の指導計画を立案し、保育実践し、事後、指導担当保育士から指導を受ける。</p> <p>10) これまで学んできた理論と実習での実践に関連づけながら、自己の保育観、倫理観を高める。</p>	実習
授業外学習	
<p>実習事前準備として指導案の作成、保育教材研究等に積極的に取り組む。また、実習終了後は、振り返りレポートを作成し、事後指導へ生かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>保育所保育指針解説書 フレーベル館</p> <p>保育小六法 株式会社みらい</p>	<p>保育原理、教育・保育課程論、保育所実習指導Ⅱ、施設実習Ⅱ</p>
備考	
<p>【オフィスアワー】 主担当：重村 美帆 emoto@ube-c.ac.jp</p>	